



しょくいく がつごう 食育だより 1月号

学内発 22-10号
令和7年1月15日
大阪府立豊中支援学校

あけましておめでとうございます。新しい1年がはじまりました。
「新春」とはいいますが、寒さはこれから一段ときびしくなります。
規則正しい生活を心がけ、元気に3学期を過ごしましょう。



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 1月24日から30日は 全国学校給食週間 です！

学校給食は、栄養バランスのとれた食事によって子どもたちの成長を支え、食べて味わう「生きた教材」として、さまざまな役割があります。学校給食週間は、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めてもらうために行われる毎年恒例の行事です。

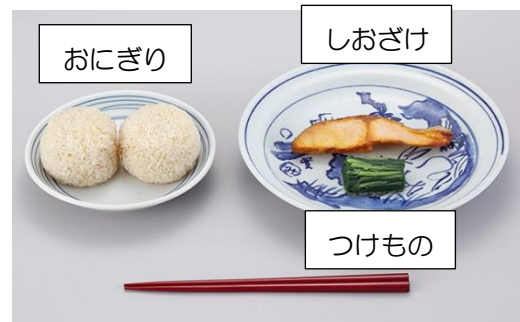
本校でもこの目的にそって、1月20日から24日を給食週間とします。今年は「感覚を使って味わう給食 ～見る、聞く、かぐ、ふれる～」をテーマにして、献立カレンダーで給食週間の献立をくわしく紹介します。

きゅうしょく れきし 給食の歴史

学校給食は、明治22年に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を出したことが始まりとされています。

その後、給食は戦争により作ることができなくなってしまいました。しかし、戦後、食べ物が足りなかった日本の子どもたちのために、外国からの支援によって、給食が再び始まりました。このことを記念して、昭和25年度から全国学校給食週間が実施されています。

給食の始まり（明治22年頃）



写真：(独)スポーツ振興センター

かんしゃ きも つた 感謝の気持ちを伝えてみよう

わたし た しょくじ しょくじ ひと ささ つか
私たちが食べている食事は、たくさんの人たちに支えられて作られています。



こめ やさい つく ひと
米や野菜を作ってくれる人



さかな ひと
魚をとってくれる人



うし そだ ひと
牛を育ててくれる人



た もの う ひと
食べ物を売ったり、
はこ 運んだりしてくれる人



しょくじ つく ひと
食事を作ってくれる人

かんしゃ きも つた ★感謝の気持ちを伝えることば★

かか ひと かんしゃ きも こ
関わっているたくさんの人に感謝の気持ちを込めて、
「いただきます」と「ごちそうさま」を言います。

